

伊勢新聞 8月20日朝刊 伊勢志摩東紀州版

飛子 尺牘

平成23年(2011年)8月20日 土曜日

10



大型船の迫力に感激
小中生ら名古屋港を見学

伊勢志摩東紀州

伊勢志摩東紀州新聞社
 伊勢市 編集・印刷部
 志摩市 印刷部
 尾鷲市 印刷部
 北勢支社 印刷部

伊勢志摩東紀州総局
 〒510-0801 伊勢市東町1-1-1
 TEL 059-432-1111 FAX 059-432-1112
 〒510-0802 志摩市北勢町1-1-1
 TEL 059-432-1111 FAX 059-432-1112
 〒510-0803 尾鷲市尾鷲町1-1-1
 TEL 059-432-1111 FAX 059-432-1112

【鳥羽】鳥羽市旭市の小学生は、船大の乗組員と交流し、船の仕組みや乗組員の生活について学びました。また、船の歴史や文化についても学びました。

鳥羽市旭市の小学生は、船大の乗組員と交流し、船の仕組みや乗組員の生活について学びました。また、船の歴史や文化についても学びました。

伊勢 咲ウモコノワノガバナ種少年 帝

日本海事新聞 8月25日

故郷の海を愛する会 小中学生70人迎え名古屋港見学

鳥羽船舶専攻部が3年前に立ち上げた法人「故郷の海を愛する会」(会長)は18日、鳥羽頭側(下)のフェリーターミナル、目黒、目黒搬送台車(トランスポート)と管理機(操作)を速く操作する「パイロット」の学生が、名古屋港に臨む。鳥羽市などの小中(小)生、管理機(操作)を速く操作する「パイロット」の学生が、名古屋港に臨む。鳥羽市などの小中(小)生、管理機(操作)を速く操作する「パイロット」の学生が、名古屋港に臨む。



鳥羽船舶専攻部が3年前に立ち上げた法人「故郷の海を愛する会」(会長)は18日、鳥羽頭側(下)のフェリーターミナル、目黒、目黒搬送台車(トランスポート)と管理機(操作)を速く操作する「パイロット」の学生が、名古屋港に臨む。

*会としては子供達が他の学校の子供達と知り合い・友だちになる機会を作るために別々のグループにしたいと考えています。

保護者の参加は歓迎しますが、鳥羽丸などの定員の制限もあり今までは子供のみとしていました。

会費 ・ 500は複数の子供を参加させるには、助かります。

・ 保険と弁当代で5000ぐらいまでは良いのではないかと。

・ キャンプなど一泊の時は4000以上すると複数人参加するときはキツいので一人だけ参加としている。

・ 志摩自然学校のカーヌーだけでも費用は大したことはない様だけどほかの事と組み合わせると高くなる。

*会としては5000程度の昼食に加えて飲み物、保険などを用意しているのですが今は参加費を現状の500から1000としたい。

その他 ・ 親が参加すると、子供達の別の面を見ることもあって面白い。

・ ボランティア参加の募集を、募集のリーフレット類に目立つように載せて貰えると判りやすい。

・ 夏休み前には色々な活動のパンフレットが配られるので、こぼれる可能性が大、配付の時期・工夫が必要（先生は一纏めにして子供達に渡す）

・ 写真を送ってもらえるのは、大変うれしいです。子供たちの様子がよく判って面白いです。家庭での話のタネになっています。他ではこちらのようには写真は送ってくれない。

・ 今後の活動について、別の団体とコラボレーションすることも考えてみる必要もあるのでは。

*会としてはこれらの意見を参考にして今後の活動にいかせたいと考えます。



故郷の海を愛する会から古川会長、三井会長代行、川口副会長、塩野理事、西岡事務局が参加しました。

9. 主催者の感想・反省

2011年度の応募状況が従来に比べ反応が良く、①、②回目は応募締め切り前に定員数の応募となりました。対象地域を少し広げた事、十分な時間を取って募集活動をした事、活動の内容により多くの子供達・保護者に興味を持ってもらった事、等が理由かと考えています。

日本財団の助成を得ておかげさまで本会の活動は3年目となりました。

「故郷の海を愛する会」のボランティア達はこのような活動についてまだまだ慣れないところもありますが、少しは子供達がこれらの活動を通し船や海のことを少しは分かってくれたと感じています。又、地域の人達にも理解が広まったように思います。これらの活動を日本財団の助成を得ながら今後とも継続したいと考えています。

感想とか反省など。

1. 鳥羽丸では、2010年度は船が揺れたせいか酔いにかかった子供たちが数名いましたが、2011年度は海も静かで問題はありませんでした。付添の看護師さんも手持ち無沙汰でした。子供達全員が元気に楽しんでくれて何よりでした。
2. 鳥羽丸では体験実習としてロープワークを習いましたが、楽しそうでした。講師のようにうまくロープが結ばなくて悔しそうにしている子供もいました。船橋で本船乗組員の指導のもと、舵をとってみる事も楽しそうでした。自分でやってみる事が個人の記憶に残るには大切と考えており、このような時間を確保したいと思います。
3. 鳥羽丸は予定通り11：30にはユニバーサル造船所の岸壁に接岸しましたが、安全確保のため渡り棧橋の設置に時間を要し、正午過ぎの上陸となってしまいました。造船所の作業員の方々の迷惑にならぬよう、正午には移動終了にしないといけません。
4. 反省項目です。
名古屋港での飛島コンテナ埠頭、太平洋フェリーの大型フェリーは子供達にとつて初めて見るものばかりだったと思います。
飛島コンテナ埠頭では、広い敷地内を無線で動き回るコンテナ搬送車、ガントリークレーン、数えきれない大きなコンテナ、そして岸壁に接岸中の大型コンテナ船。
オペレーション室では自動コンテナ搬送車やガントリークレーンの遠隔無線操作を見学しました。日本でも最も進んだコンテナヤードを見る事が出来ました。幸いにも接岸中のコンテナ船の荷役が休みで、子供達はバスを降り、水際で大きなコンテナ船をまぢかに見る事が出来ました。その船を接岸させたパイロットさ

ん（鳥羽商船同窓生、本会理事）の説明を聞く事も出来ました。

太平洋フェリーの「いしかり」は2011年の3月に新造就航しましたが、東日本大震災の為、しばらく運航できず、やっと本格的に稼働を始めたばかりでした。

子供達は乗船してすぐに真新しいフェリーのきれいな食堂で「カレーライス」・「サラダ」・「フリーストック」・「アイスクリーム」等の昼食をおいしく頂きました。御代わりする子供達続出です。太平洋フェリーに感謝します。

機関室は整備中の為、見学はできませんでしたが、客室、ラウンジ、船橋など船内を案内して頂き、子供達は楽しそうでした。

5. 名古屋港からの帰りのバスの中で親しげに話をしたり遊んでいる子供達がいまいた。

彼らは当日初めて会って、同じ班になった子供たちでした。友だち作りの場にもなったようでした。主催者としてうれしい事です。

6. 子供たちの安全には特別の注意を払いました。

鳥羽丸では看護師を乗船させ、緊急時に備えました。

暑い真夏の活動なので、熱中症にならぬよう、外での移動の際には帽子をかぶること、水分補給などをこまめに行うこと等に注意しました。

7. 参加者の募集について

昨年は募集活動が遅れた感じがあったので、2011年度は十分な時間を用意しました。

教育委員会から各学校に募集のポスターが届き、余裕を持って子供達に配布されたと思います。新聞社に「活動の案内と参加者募集中の記事」を掲載してもらいました。

これも影響したと思います。掲載して頂いた新聞社に感謝します。

終わりに

配布資料の提供など本活動に関し以下の団体、会社、学校にご協力をいただきました。
ありがとうございました。

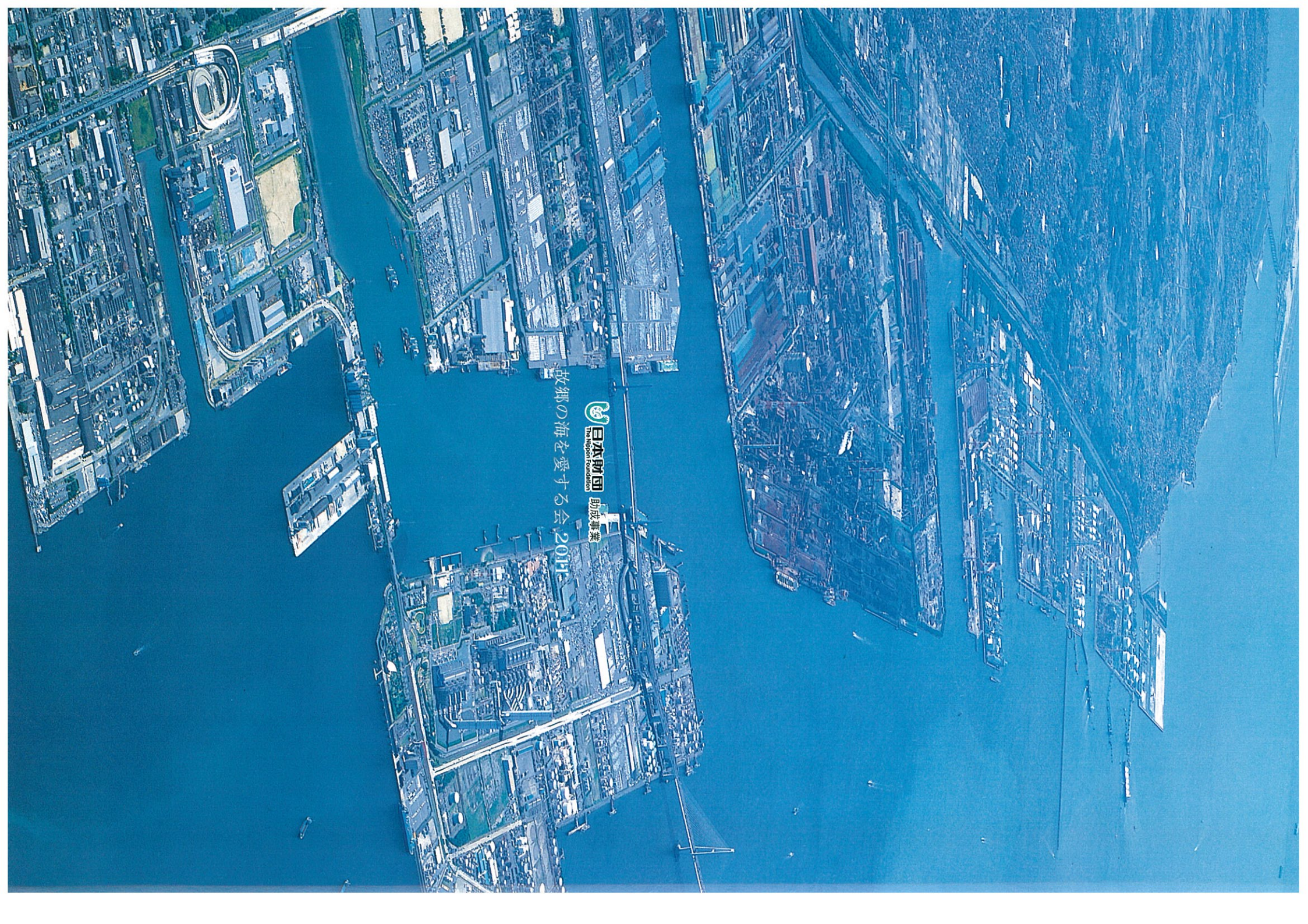
- ・ 日本財団
- ・ 日本船主協会
- ・ ユニバーサル造船所津事業所
- ・ 太平洋フエリー(株)
- ・ 伊勢市・鳥羽市・志摩市・松阪市・明和町・南伊勢町・玉城町 教育委員会、各小中学校
- ・ 鳥羽商船高等専門学校
- ・ 鳥羽海上保安部
- ・ 日本海事広報協会
- ・ 飛島コンテナ埠頭(株)
- ・ 鳥羽商工会議所

今後とも継続して同様の活動を行いたいと考えていますので、よろしく願います。

以上

平成24年1月21日

最終報告として作成 S. K



故郷の海を愛する会 2014